

事務事業評価表 平成24年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **畜産経営維持緊急支援利子補給事業**

[0888]

部名	経済部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成41年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 畜産農業者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 借入した畜産経営維持緊急支援資金の実質金利を引下げ、畜産農家の負担を軽減することで経営の安定を図る
	(事務事業の内容、やり方、手段) 畜産経営維持緊急支援資金を借入した農業者へ利子の一部を補助する(2/3道、1/3市)
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	畜産農家戸数	戸		80	82	80
対象指標2						
活動指標1	利子補給額	千円		103	98	94
活動指標2						
成果指標1	制度を利用し経営安定化を図った畜産農家戸数	戸		1	1	1
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	103	98	94
正職員人件費 (B)		千円	0	403	401	405
総事業費 (A) + (B)		千円	0	506	499	499

費用内訳	
23年度	負担金 補助及び交付金 98千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

利子補給による実質金利引下げにより農家経営の基盤強化に繋がり、経営環境が悪化している畜産農家の経営の安定が図られるため妥当と考えます。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

低利子の本制度資金に一括借換えすることで、毎年の利子支払額が削減され、経営の安定が図られています。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

平成22年度に本制度資金に借り換えした者が1件あり、利子補給により経営の安定に寄与しています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

平成23年度以降、新規の対象者は無いため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

利子補給に係る最低限の経費のみ計上しているため。